



再現

安の

花

田

植



平成28年6月12日(日)

11:30～安の花田植元記録映画

「誰もそなたもご苦労様よ」

13:00～御田植神事

13:30～花田植



安花田植専属モデル
安の花子

V S



北広島町イメージキャラクター
花田舞太郎君来場予定

会場 安佐南区安東二丁目14番地
安東公民館・西隣の田
アストラムライン安東駅下車徒歩5分
公共交通機関をご利用ください。

主催:安の花田植実行委員会
問い合わせ872-4495(安公民館)

■安の花田植の由来

昔、大町五軒家(今の安佐中の辺り)に、喜左衛門と言う豪農がいました。湿田9町8反を持ち、田植えの時には、近所は勿論近郊の村から多数の人手や役牛の応援を得て田植えをされていたそうです。そのうち、応援に行く人達は、牛を飾り、早乙女も衣装を着飾って田植えをするようになったと言われています。これが安の花田植の始まりです。

江戸時代(寛政年間1797年)から途中途絶えはしたものの約200年以上もの長い間、安地区で盛んに行われてきました。しかし、昭和34年に長楽寺の観音田で行った「安の花田植」を最後に、時代の流れの中で、農業の機械化や都市化が進み「安の花田植」は途絶えてしまいました。

先人達が残してくれたこの素晴らしい伝統芸能がこのまま過去の史実に終わってしまうのではないかとの懸念から、平成15年より「安の花田植」を後世に伝えて行こうという活動がスタートし「安花田植保存会」が設立されました。幸いにも「安の田植唄」の楽譜とテープが見つかり、当時を知るわずかな聞き伝えを頼りに早乙女踊りや采振りを形として再現することができました。

そして、平成18年に「安の花田植実行委員会」を立ち上げ、使用する太鼓や衣装などの道具を手作りで準備し、実際の田んぼにおいて、「大朝飾り牛保存会」の協力を得て飾り牛の代掻き、早乙女踊りや采振り、太鼓などによる「安の花田植」を47年ぶりに再現しました。この再現した「花田植」を初めて見た人々は、想像以上の迫力と、遠い昔の先人達の生活と知識を思い描くことができ、先人達が残してくれた伝統芸能の素晴らしさに感動しました。



大正時代と思われる花田植



平成18年復活した花田植

安の花田植ドキュメンタリー映画

『誰もそなたもご苦労様よ』青原さとし監督 54分
安の花田植の歴史・復活の経緯を紹介しつつ、2015年の安の花田植における稽古から本番に至るまでの全容を追った。また、安の花田植に共通する中国地方各地の田植行事の源流も探っている。また、花鞍が結ぶ北広島町とおとなり沼田町との新たな繋がりも発見。



花田植つながり 北広島町の花田植グッズの販売、子ども会・安古市町商工会の協力で、うどん、軽食、飲み物などを販売しています

【安の花田植写真コンテスト】

安公民館、安東公民館にある応募用紙でご応募ください。

募集期間：平成28年7月1日(金)～7月31日(日)

詳しくは応募用紙をご覧ください。



平成27年度
写真コンテスト最優秀賞
「そろい踏み堂々入場」
撮影者 松田和彦氏

